「余分な短線」錯視

高尾　沙希, 渡邊　克巳

早稲田大学

解説：

長い線分を交互に配置した場合, その間に短い独立した線分が見える。短い線分の色や明るさ, 長さを一部変えると効果が減少もしくは消失するため, 本錯視の成立には, 線分同士の類似性や，互い違いにある線分の端点がそろっていることによる主観的輪郭の形成などが重要であると考えられる。さらにこの静止画を運動させると, 重なる前後で存在しない短い線分がはっきりとフラッシュしているように見える。

連絡先：

高尾　沙希

〒169-8555 東京都新宿区大久保3-4-1 早稲田大学　理工学術院

E-mail: sakitakao@ruri.waseda.jp